- 身体障害者療護施設版 -事業プロフィル

1 .	事業所名:							
2 .	(1)運営主体(法)	人名等):						
	(2)設置主体:							
3 .	事業所所在地:							
4 .	事業所の長の氏	名(施設長	長等):					
5.	連絡先							
	Tel							
	Fax							
	Eメール							
	ホームぺージ							
6.	同一運営主体が 上位5つ以内(例 1) 2) 3) 4) 5)							ó 数からみて
7.	同一運営主体が	同じ敷地口	内で連携して第	€施している	る全事業の	うち、今回の	の評価対象	マサービス事
	業が占める割合							
	収入面でみて	約	%					
	職員数でみて	<u>約</u>	<u>%</u> (非常勤は	常勤換算)				
8.	当該事業の開始に	時から現る	生までの重要な	论変遷(制度	改正に基づ	づくもの含む	(۲	
	(1)開始時期		年	月				
	(2)重要な変遷							

9.理念·方針					
事業所が大切にしている	考え(事業	≨所の理念・ビジョン∫	吏命など経	経営·運営方針)のう	ち、特に重
要なもの(上位5つ以内)	を簡潔に記	已述			
(例.基本的人権の尊重、	利用者本	位、職員満足の向上	、地域社会	会への貢献など)	
1)					
2)					
3)					
4)					
5)					
10.サービス提供の考え方	について訂	己述(日々の業務の考	きえ方、利力	用者ニーズに合わせ	た施設独
自の取組、利用者や家族	族との関係	、地域との関係を含	む)		
11.期待する職員像					
(1)職員に求めている人	、材像や役	割			
(2)職員に期待すること	(職員に持	って欲しい使命感)			
12.職員の状況					
(1)常勤職員数	人	_			
非常勤職員数	,	人(常勤換算	人)		
(計算式∶非常勤職員	のそれぞれ	れの勤務延時間数 <i>の</i>)総数÷ 当	当該事業所の常勤職	員が勤務
すべき時間数)					
(2) 専門職員の人数	T		Ī		T
医師		理学療法士		栄養士	
看護師		作業療法士		調理員	
介護職員					

(3)	非常勤職員	の勘絡形能	レ業移内突
())	11:市 机船 县	ひノ モルイカ ハンパス	しまかり行

*職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入

	ください。						
	職員種別 人数		勤務形(勤務時間、	_	業務内容		
(4)育	前年度採用·退職の状況	兄	採用退職	<u>常勤:</u> 常勤:		· <u>非常勤: 人</u> · 非常勤: 人	
(5)営	動職員の平均年齢		歳	마케,		<u> </u>	
` , -	動職員の男女比				% / 女	5性 %	
` ,	勤職員の平均在職年	数			年		
(Ξ	見在の事業所での在職	年数とす	より (10)				
(8)介	`護に携わっている職員	負(非常勤	かは常勤換算)	1人当たり	の利用者	数人	
(言	計算式∶定員÷介護に	携わって	いる職員数)				
13.現在(のサービス提供能力と	利用者数	女(以下のどれ	かにをつ)ける)		
1)	サービスを希望しながら	ら待ってに	1る人(事業所	に登録して	こいる待機	者)がかなりいる	
2) I	まぼサービス提供能力	に見合っ	った利用者数で	で、待ってし	る人はほ	まとんどいない(ほぼ定員	
3	を満たしている)						
3) 1	サービス提供能力に余	力があり	、希望者があ	れば受けど	\れたい		
4)	その他()	

4.3年後の見通し	(以下のどれかに	をつける)
-----------	----------	-------

- 1)利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2)サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3)現在の利用者数を維持するのは余程経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う

13 7 6 /15 /			
4)その他(
7 / C 0/ 10 (

15.評価対象としているサービス事業に関して事業所として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述

人的サービス面

- 1)
- 2)
- 3)

設備·環境面

- 1)
- 2)
- 3)

16.経営に影響を与えると考えている事業環境の変化を記述(制度改正を含む)

17.評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていか	
なければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述	
(例.経営改善への職員の参画、職員の能力開発、後継者の育成、給与制度の改善、事業者	
間交流、入浴設備の拡張など)	
1)	
2)	
3)	
18.定員および現在の利用者	
(1)定員 <u>人</u>	
(2)新規の申込者が1年以内に利用できる可能性	
(前年度の退所者数÷現在の待機者数×100)%	
(3)前年度の退所者数 <u>人</u>	
(内短期入院等以外の再入所者数 <u>人</u>)	
主な退所理由	
(例:在宅に戻った、他施設へ移った、アパートなどで生活を始めた、病院への入院)	
1. (人)	
2. (人)	
3. (人)	
(4)平均在所期間 <u>年 ヶ月</u>	
(5)現在の利用者	
現在の利用者数 <u>人</u>	
男女比	
平均年齢 <u></u> <u> </u>	
障害の状況	
障害の種類別・程度別の人数など、当該施設の利用者の状況が分かる表を、下の空白部分	汁に
書き込むか、または巻末に添付して〈ださい。	
利用者の入所前の住所(区市町村)で多いものを上位2つ記述	
(計算式:入所者の多N区市町村から入所した利用者数:現員数×100)	
1. (%) / 2. (%)	
(計算式:食堂で食事をすることが可能な人数:現員数×100)	

	趣味の活動等に参	加している人		<u>%</u>		
	(計算式:趣味の活	動参加人数÷	·現員数×10	0・一人の利	用者が複数の調	趣味の活動に
	参加している場合も	5参加人数1名	として計算する	3)		
	何らかの拘束を行っ	っている人	%			
	(理由:)
	(計算式:拘束を行	なっている人数	女÷現員数×	100·拘束 <i>0</i> .)度合いは問わ	ず、拘束の対
	象となっている人は	すべて1名とし	て計算する)			
19.施設	もの状況					
(1)原	苦室の状況					
	居室の種類と数	個室	<u>室</u> 、2人部	屋	<u>室</u> 、4 人部屋	<u>室</u>
		その他	<u>室</u>			
	定員1人当たり居室	函積	m²			
	(計算式:居室面積	合計÷定員)				
	個室以外の場合の	間仕切りの種類	頭(該当にすべ	(て)		
	1. 家具	2. カーテン	3. その他	(具体的に:)
	自室にトイレを有す	るベッド数の定	[員に対する割	合	%	
	(計算式:トイレがあ	5る部屋のベッ	ド数÷定員×	100)		
(2)1	食堂の状況					
	食堂の数	<u> ヵ所</u>				
	定員1人当たりの食	[堂面積	<u>m² / 人</u>			
	(計算式:食堂面積	合計÷定員)				
(3)3	建物等の状況					
	建築(含大改築)後	の経過年数	年			
	建物の形態(階建)				
	評価対象施設の	使用階数(階 ~	階)		
	他施設と併設のり	易合 併設施	函設種別∶			
	3年以内の大改築語	計画の有無		1.有	2.無	

(4) <u>5</u>	立地条件							
	交通の便							
			駅から	徒歩・バス	.・その他()で	分
	バス停		<u></u> から	徒歩		_分		
	近隣の環境	(スーパー、	公園等まで	での距離なる	ピ)			
())
	1人あたりの	平均的な外	出回数(散	歩、買い物、	行事など)			回 / 月
	iを実施するに 況、職員の状				しいこと(経	営層が考	ぎえている	っこと、利用者